



2019・5・1

第 337 号

101-0065 東京都千代田区

西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

## 参院選を9条改憲にきっぱり審判下す好機に

### 審査会で改憲論議入り急ぐ自民

今国会初となる衆院の憲法審査会が 4 月 25 日開かれ、国民投票のテレビCM規制についての意見聴取のため、5 月 9 日に民間放送連盟の専務理事らの意見聴取を行うことを決めました。

審査会閉会後の幹事懇では、自民党が「9 日の参考人質疑の後、国民投票法改正案の質疑に入りたい」と提案、野党筆頭理事の山花議員らは「持ち帰る」と応えて幹事懇は終わりました。自民党としては、野党の意見を取り入れながらも、それらを早く終え、改憲論議に入りたいとの構えです。

### 「全国の会」結成めざし交流会

【東北市町村長九条の会】 東北 6 県市町村長九条の会連合は 4 月 22 日、福島市内で第 6 回総会を開き、5 月 18 日に東京都内で「全国首長九条の会」結成に向けた交流会を開くことを確認しました。総会後の記者会見で、開催地・福島県の福島市町村長九条の会代表の伊藤寛・元三春町長は「各地の取り組みを拡充する課題とともに、首長の会を全国に広げていくにはどうするかを

真剣に検討した」と述べ、当初は 5 月 18 日に予定していた「全国の会」（仮称）結成総会を、より幅広い首長・首長経験者への呼びかけや、交流・議論を深める十分な期間が必要だとの認識で一致、「交流会」に変更することにしたことを明らかにしました。

なお、安倍首相が、地方自治体が自衛官募集に非協力だとして憲法 9 条に自衛隊を明記する議論を持ち出していることについて、「連合」共同代表の川井貞一元宮城県白石市長は、「地方自治体を国に従属させた機関委任事務を廃止した地方分権法の意味を覆そうとするもので言語道断」と批判しました。

### 全国の九条の会に協力を呼びかけ

東北 6 県市町村長九条の会は 5 月 18 日に東京で交流会を開くことを確認するとともに、「全国の九条の会のみなさんへ」の訴えを発表。結成される「全国の会」に 1 人でも多くの首長経験者が参加するよう、「全国 7500 の九条の会のみなさん、お近くの首長の皆さんに声をかけてください」とのよびかけをおこないました。なお、「連合」事務

局への問い合わせ先は以下のとおりです。

TEL022-728-8812

ファックス 022-276-5160

メールアドレス [info@9jou.jp](mailto:info@9jou.jp)

## 5月3日までに目標達成めざす

【札幌市手稲区／新発寒九条の会】 新発寒九条の会は5月3日までに目標 3000筆の達成めざし、地域行動を行いました。

ようやく暖かくなった4月13日(土)、5人の九条会員は、新発寒地域にピンポン行動をおこないました。突然の訪問に驚いた方もいましたが、子供さんと玄関先に居た若いご主人は、「将来の子供のため、何としても9条は守りたい」と熱く語り、奥様も同感してくれました。また年配の女性の方は「生協の所でハンドマイクをしているのは知っていましたが、足を止められなくてね」と言って署名をしてくれました。

多くの賛同をもらえましたが、「町内会でお願ひされたらするけど、フリーでは駄目！」

「主人が警察勤務だったから今まで署名は一切してない。退職したから私の名前ならいいと思うけど、まだ心がチョツトね」と署名をしてもらえませんでした。次に繋げていけたらいいと思いました。

この日は訪問87件、インターホン越しも含め59人と対話し、署名21筆、新会員6名でした。署名の到達は2740筆(91%)。次回は4月20日(土)を予定しています。

(世話人・村本慶子「新発寒九条の会つうしん」第90号)

### 主権者としての権利行使を訴えて

【横浜市青葉区／青葉台地域九条の会】

＜定例駅宣＞ 3月9日の定例駅宣は「春一番」となった強風の中、5人で25筆の署名を集めたが、その強い風に吹きまわれ、かなりしんどい活動となった。選挙活動に取り組んでいる会員も多く、2月の7名に続いて、少人数の活動であった。

4月9日の駅宣は6名の参加で温かい日差しの中行われた。今回の知事選で安倍内閣直結の黒岩県政に白紙委任状を与えるに等しい40%強という低投票率に民主主義の危機を訴え、夏の参議院選では主権の行使をしようと呼びかけるチラシを用意していたが、印刷機が他の団体に長時間利用されていたので印刷できず、結局チラシ無しの署名を中心に行った。

署名の累計は2860筆。4月中には残り140筆をやり目標の3000筆をやり切ろう。

＜月例会＞ 青葉区平和アピールについて 匿名希望を含む賛同者、よびかけ人は都合159人になっている。会員自身がまず「賛同者」になってもらうこと、これを進めながら、このアピールを文字通り青葉区民にアピールする方法、そしてよびかけ人などの公開、呼びかけ人集会の開催などの次の行動を順次展開したいと計画検討中。これらの行動は遅くとも6月中には決行し、参議院選挙にあたっての区民の投票行動に一定の影響を与え、安倍改憲の阻止、安倍内閣打倒の運動に発展させたい。

再度会員に訴えます。賛同者になっていない方、至急ご家族も含めて賛同者になってください。

(「青葉台地域九条の会ニュース」No139)

トランプと一緒に戦争するのはイヤ

【札幌市西区／琴似、山の手9条の会】 “ トランプと一緒に海外で戦争するのはごめんです、一。吹く風も暖かく感じられる札幌市西区の地下鉄琴似駅前で18日、琴似と山の手9条の会が9条改憲反対3000万人署名をよびかけました。

手づくりの「子どもたちに平和を」の横断幕や、「平和が一番9条が大切」「9条を守ろう日本の誇り世界の宝」のプラスターを掲げ、「戦争させない署名です」と市民に声をかけました。

「憲法9条があったから日本は戦争しないうでした。他の国も日本に学ぶべきです」と切々と語る70歳の男性が署名しました。

「憲法に自衛隊を明記すると、交戦権の否認がなくなり、戦争しそう。もし彼が戦争に行かされたら、御先真っ暗です」と語る会社員の女性(21)。「頑張ってくださいね」と激励していきました。

「安倍さんのすることはすべてだめ」と言い切る切る女性や、「戦争だけはしないようにお願いします」と頭を下げる老夫婦の姿がありました。

## 軍拡のつけを増税にまわすな

【愛媛県今治市／9条の会・今治】 9条の会・今治は19日、市内で宣伝し、安倍9条改憲阻止と消費税増税反対を訴え、3000万人署名への協力を呼びかけました。

大沢守事務局長は、玉城デニー沖縄県知事が日米地位協定の改定を求める取り組みの一環として、米軍駐留を受け入れているヨーロッパ4カ国の地位協定の内容などを調査した結果を発表したと紹介。「日本では、米軍には日本の法律が適用されず傍若無人

に行動できるが、ヨーロッパでは米軍はそれぞれの国の法律に従わなければならない。一日も早く屈辱的な安保条約や地位協定を改めさせよう」と力説、参院選などを通じて安倍政権を退陣させようと訴えました。

今治民商の田部浩三事務局長は「安倍政権は、福祉のためではなく軍備増強や戦争する国づくりのために消費税を10%に上げようとしている。消費税の増税はきっぱりと中止させ、むしろ5%に戻させよう」と呼びかけました。

男性(88)は「安倍首相も嫌いだし、やっている政治にも反対だ。選挙では自民党には絶対に入れない」と署名しました。

## 天皇代替わりをテーマに

【愛知県／あいち市民アクション】 「安倍9条改憲NO! あいち市民アクション」は19日、名古屋市千種区の区役所ホールで「今が正念場 いのち・くらし・平和の危機」をテーマに学習会を開きました。会場いっぱいの約300人が参加しました。

開会あいさつで青山邦夫弁護士は「安倍首相は異常ともいえるほど改憲に執念を燃やしている。改憲阻止へ3000万人署名など運動を広げ、9条改憲を断念に追い込もう」と訴えました。

森英樹・名古屋大学名誉教授が「天皇代替わりと憲法—改元と改憲のビミョーな関係」と題して講演しました。森氏は、象徴天皇制、元号制度の歴史などについて述べ、「安倍首相は天皇代替わり、新元号『令和』のさまざまなフィーバーに隠れて、改憲ギアを入れ続けている。天皇の代替わりを政治利用している」と批判しました。

参加者から「安倍政権は新札発行も含めてさまざまなイベントで悪政を隠している」、「代替わりのお祭り騒ぎは安倍政権の延命に利用されている。国民は安倍政権妥当の声をあげねばならない」などの意見が寄せられました。

## 「憲法9条の碑」で平和の誓い

【愛媛県大洲市／憲法9条をまもる大洲の会】大洲の会は20日、講演会と集会を開きました。

あいさつした河野朋子代表世話人は「会が発足して今年で14年目になります。9条は不滅であり、平和のシンボルであり、世界中の人々のあこがれであることに誇りを持ち、活動を続けましょう」と訴えました。

澄田恭一代表世話人は、2018年度の活動について、「憲法9条の碑」の建立と7月の豪雨災害の救援活動の2つが中心だったと報告。活動方針として、2ヵ月ごとの「憲法アピール活動」と「ぴーすさろん開催」などを提案しました。

憲法9条の碑を制作した玉井義幸さんは「青年団のころから平和運動を続けてきました。平和への思いを石碑として残すことができ、思い残すことはありません。戦争のない時代が続くよう今後も微力を尽くしたい」と話しました。

愛媛大学教育学部の川岡勉教授が「『天皇代替わり』を歴史的に考える」と題して講演しました。

## 平和と民主主義の連続講座

【鳥取県／鳥取市9条の会】鳥取市9条の会は5月3日に向けて実行委員会を再

開し、このほど「平和と民主主義を考える市民連続講座」を開きました。2回目の4月14日には県人権センターの尾崎真理子さんが講演し、人権について「生活と自由を確保し、それぞれの幸福を追求する権利」だと指摘しました。

一つの人権が奪われると他の人権も危うくなる相互依存性があると言及。教育を受ける権利が危うくなると、貧しい家庭の子どもが必要な知識や技能を身につけることが出来なくなり、職業選択の自由が制限されると述べました。また憲法にある勤労・納税の義務は、「働いて税金を納めて財源をつくって国に仕事をさせる」という面で、人権を守る意味があると強調しました。

## 12周年記念し平和のコンサート

【新潟県／新潟県音楽九条の会】新潟県音楽九条の会は4月21日、新潟市内で12周年コンサート「聞こえる平和の調べが」を開き、300人が参加しました。

民謡、女性アカペラ、ピアノ、フォーク、合唱の5分野の演奏者が平和への思いを乗せて演奏。フォークグループの「なじらねじょんのびーず」は「基地をつくるのはやめておくんない」と歌いました。合唱団ピース9は、松浦良治・新潟大学名誉教授の指揮で3曲を披露。「リメンバー、ヒロシマ・ナガサキ、過ちは繰り返さない」と熱唱。

最後に会場全体で、今年が9条施行から72年であることにちなんで、「わたしを褒めてください」の歌詞を「この世に生まれて72年。私はまだまだ役に立ちます」と変えて歌いました。